

令和7年度入学者選抜試験問題
地域教育文化学部地域教育文化学科
児童教育コース

総 合 問 題

後 期 日 程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子の本文は1ページから3ページまでです。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・落丁・乱丁、解答用紙・下書き用紙の汚れなどに気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示にしたがって、解答用紙に**大学受験番号**を正しく記入してください。
大学受験番号が正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
- 5 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

第1問 次の文章を読んで、あとの問に答えてください。

AさんとBさんが入院中の友だちのために、折り紙でそれぞれ同じ目標数の鶴を折ります。Aさんは、目標の半分の数の鶴を折った後、残り半分を折るときには、折る速さがはじめの8割になります。一方、Bさんは、いつも同じ速さで鶴を折ることができます。

問1 AさんとBさんは、ぴったり同じ日数で折り終わりました。Aさんが目標のはじめの半分の数を折る速さと、Bさんが目標のはじめの半分の数を折る速さの比を、できるだけ簡単な整数の比で答えてください。

問2 AさんとBさんが目標数の鶴を折るのにかかった日数が36日だったとします。折りはじめて24日後の、AさんとBさんの折った鶴の数の比を、できるだけ簡単な整数の比で答えてください。

第2問 次の文章を読んで、あとの問に答えてください。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：村田和代『優しいコミュニケーション——「思いやり」の言語学』（岩波書店 2023 年）による。

なお、設問の都合により、表記を一部改めました。

（注1）リアクティブ・トークン——聞き手の具体的な反応表現を指す用語で、ここでは筆者が挙げている、相槌、終助詞の使用、頷き、笑い、問いかけ、反応表現、直前の発話の補完や完結を、具体例として理解するとよい。

（注2）2章——出典著作内の章を指している。本文が含まれているのは3章。

問1 英語会話と日本語会話の違いを本文から読み取り、90字以内で説明してください。

問2 小学生の話聞く場面で、聞く力を発揮するためにあなたはどのような工夫をしますか。本文に示された聞き手の役割や聞き手行動について説明した上で、それを踏まえたあなたの考えを400字以上600字以内で述べてください。